

# 神経難病看護の研修

西病棟 3階 脳神経内科病棟では、難病の患者さんが多く入院しており、快適な療養生活を送ることができるようにコミュニケーション方法や体位調整など個別性に配慮した看護を行っています。また、難病看護師が2名在籍しています。今回、長岡京病院の看護師の方が「難病看護を学びたい」と研修に来られました。



講義を受けている様子

脳神経内科医師や理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)や難病看護師が疾患や看護について講義を行いました。



パーキンソン病患者さんの言語療法に参加し、リハビリを一緒に体験しました。

透明文字盤を使用したコミュニケーションの様子



難病看護師と共に ALS やパーキンソン病患者さんを受け持ち、ケアを実施したり、コミュニケーションを取っていただきました。

## <研修に来られた方の感想>

- ・家族支援や退院支援、多職種との連携の困り方、在宅指導に用いるマニュアル資料など取り入れたい。
- ・自己の看護を振り返る機会になり、患者さんの思いを傾聴し、個々に寄り添った個別性のある看護に努めていきたい。
- ・学んだこと、改善したいことを自施設に還元したい。

私たちも今回の研修で難病看護について振り返りができました、看護の質を高めていきたいと思えます。

※写真掲載には本人の承諾を得ています。